

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER


 2015-16年度
国際ロータリー第2710地区 ガバナー

東 良 輝

 GOVERNOR : Yoshiki Azuma
UBE WEST ROTARY CLUB

「会員増強・拡大月間に寄せて」

今年度からロータリー特別月間が変わりました。しかし、8月は今までと同様「会員増強・拡大月間」です。会員増強・拡大につきましては、以前からRIの最重要課題の1つとして強調されていることは皆様すでにご承知のことと思います。ロータリーはここ数年、特にアメリカ、日本において会員数を大幅に減らしてまいりました。日本では1996年130,982人をピークに減少し始め、2015年1月末の統計では89,125名と低迷しております。日本の会員数は今まで世界でアメリカに次いで2番目に多いといわれておりましたが、現在ではインドに抜かれ3番目が日本となりました。因みに2710地区では1998年4,282名をピークに年々減少の一途を辿り、2012年には3,197名まで減少しました。しかし、皆様方のご努力のお蔭で、2013年、14年は少し回復の傾向を示しております。これまで会員が減少してきた原因としていろいろ考えられますが、その一つとして私は日本における景気の低迷であったのではなかろうかと考えています。

日本のロータリーでは戦後の高度成長期のように経済

が順調に推移している間は、着実に会員数を伸ばしてきましたが、バブル崩壊後のデフレスパイラルに陥り始めた1996年ごろから徐々に会員数が減少してきております。わが2710地区でも同様に、少し遅れてその2年後の1998年から減少し始めました。ロータリーの会員数も経済の指標であるGDPに左右されるといわれています。わが2710地区では幸い会員増加の傾向を示しています。今がチャンスと捉えて、更なる増強が望まれます。

会員減少の要因には経済の低迷だけではないことも確かです。ロータリーに魅力がなくなったからだといわれる人もおられます。職業分類が緩められ、職業奉仕を蔑ろにしたからだ、あるいはロータリーはあまりに大きなプロジェクトを立ち上げたためロータリアンに財団へのより高額な寄付を要求しているからだという批判も聞かれます。若い人たちのニーズが多様化し、ロータリーに魅力を感じない人が増えたからだとも言われています。

私も会員減少の原因を経済の低迷のみに言及するつもりは毛頭ありません。ロータリーも反省すべき点はしっかり反省し、また、新たな改革も必要です。そのため、この1年間は皆様と一緒にこのことについてしっかりと議論を重ね、いろいろな視点から、会員増強に力を入れたいと考えているところです。

2710地区のロータリアンの皆様！ご協力の程よろしくお願ひします。



CONTENTS

[ガバナー月信 2015年8月号]

ガバナーメッセージ	1	奉仕プロジェクト部門② 報告	5
会員増強・拡大月間によせて	2	ロータリー財団 報告	5
【地区協議会特集】		米山記念奨学会 報告	5
地区研修・協議会 報告(ガバナー)	2	【各委員会より報告とお知らせ】	
会長・幹事部門 報告	3	ロータリーの友オリエンテーション 報告	6
クラブ運営管理部門 報告	3	会員基盤向上セミナー 報告	6
会員増強部門 報告	4	ロータリー財団寄付のお願い	6
広報部門 報告	4	会員増減・出席率	7
奉仕プロジェクト部門① 報告	4	新会員紹介/物故者への哀悼/文庫通信	8



会員増強・拡大月間によせて

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 会員増強委員会カウンセラー・パストガバナー
大之木 精二

7月からの新ロータリー一年度より特別月間の大幅な組み替えが行われたが、「会員増強・拡大月間」は従前通り8月に指定されている。これ迄通りということは、ロータリー運動における増強の重要性を、改めてアピールする意図の表れと理解すべきであろう。

会員増強は、本来その団体が掲げる目的達成の為の手段である筈が、ロータリーではややもすれば目的化されているように思えてならない。考えように依ってはそれも無理からぬことと思うのは、歴代のRI会長の強調事項のトップ又はそれに準ずる位置で「会員増強の推進」を挙げていることが、その傾向を助長しているように思えるからである。

心すべきは、拡大発展を期すロータリー運動の推進にあつて、増強問題を戦略的視点で捉えず、目に映る目的の会員数のみで判断するという問題の矮小化を、肯定してはならないことである。戦略的視点で考えることは、ロータリー運動の流れの中で増強は如何にあるべきかを問う視点であり、もっと直截に言えば、「ロータリーの目的」達成における増強の在り方を解明することに外ならない。

ロータリーは実践倫理運動であるから、その着実な伸長の為には会員一人一人が倫理を提唱していくことが基本となる。団体がとしての倫理運動ではなく、随く迄個人としての倫理性が問われる運動であるから、その意味において一人でも多い会員の存在が望まれるのも、文宣的なかなと言えよう。但し忘れてならないのは、その一人一人が高い倫理性に裏打ちされたところの、「ロータリー

地区協議会特集



地区研修・協議会は手続要覧によれば、PETSの後、3・4・5月のいずれかに開催し、その召集者はガバナーエレクト、企画者は地区研修委員会となっています。

地区研修・協議会 報告

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 ガバナー **東 良輝**

目的はクラブ会長エレクトがPETSでの研修を土台にして、さらにリーダーシップのスキルを学び、その他の次期クラブリーダーが實務について学び、次年度リーダー全員で

の目的」を理解し咀嚼した会員の存在でなくてはならないということである。数ではなく高質な会員が居てこそ、初めてロータリー運動の発展が期せられることを、私達は心に強く銘記すべきである。

「ロータリーの目的」は、冒頭の31文字の前文に要約されており、それは職業奉仕こそが目的の中核であることを明示しているのであつて、此の目的を会員全てが強烈に自覚して実践の実を上げていくこと、それがロータリーの究極の目的であると私は考えている。従って自ら職業奉仕に徹して範を示し、職業奉仕を説いて同調を促すことの出来る良質且つ高質の会員育成こそが、会員増強を効果あるならしめる最大最高の要諦でなくてはならない。私が常々「増強はロータリーとクラブの強化から」と主張している所以はここにあるのだが、地道にロータリーの研修を積んだ会員とその会員から成るクラブ程、会員増強における強力な推進力はないことを更に強調しておきたい。

「会員増強は会員個々の義務である」との理解が一般的に希薄である現状に鑑み、最後に付言しておきたいのが、ロータリークラブ定款第15条「ロータリーの目的の受諾と定款・細則の順守」の喚起である。目的の第一項目に「知り合いを広めること」によって奉仕の機会とすること」とあり、増強を示す此の活動に携わることを、私達は入会と同時に義務として容認しているにも拘わらず、その自覚を持たない会員が多いのではないだろうか。時にはこの条文を思い起し、警鐘を鳴らしたいものである。

次年度目標をさらに繰り上げるとあります。

今年度の地区協会は、2015年5月17日(日)広島国際会議場で開催されました。毎年、およそ850名の参加者で始まる地区協会は、これにより各クラブの次年度目標の方向性がほぼ決まるとも過言ではありません。そのため、招集者であるガバナーエレクトとしては、その責任の重大さを認識し、企画者である地区研修委員会において、しっかりと検討、議論したうえで、準備に万全をきたし、開催にこぎつけました。

前半に行なわれた、出席者全員を対象とした全体会議では、RI次年度会長のテーマである「世界へのプレゼンメントになろう」を次年度クラブ指導者に実行して頂くために、ラビンドンラン次期会長のサンジェゴでの講演内容を私どもの解釈で説明し、理解を求めました。後半にはそれぞれ部門に分かれて、討議して頂く分科会(会長・幹事部門、クラブ管理運営部門、広報部門、会員増強部門、奉仕プロジェクト部門、ロータリー-財団部門、米山奨学会部門)が行われました。私の担当した会長・幹事部門では第3ゾーンRPCの岩永昌昭



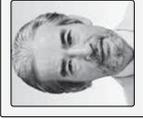
地区研修・協議会報告 (会長幹事部門)

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 地区代表幹事 **兼広 三朗**

会長幹事部門分科会は、東GEが分科会テーマの中で「本分科会は、クラブの会長・幹事に、ロータリーの原点に立ち戻り、クラブの現状を再確認され、夫々のクラブの輝かしい未来に向けて発展させるの一助となる研修となることを目指します」と述べられています。基調講演に、第3ゾーンRPC、第2710地区 岩永昌昭PGをお迎えし「今、クラブ、地区に求められるもの」という演題で講演を頂きました。内容は会員増強、多様性に重んじたクラブの紹介、戦略計画、特別月間の変更につ

いて、ポリオ撲滅への取り組みの現状、公共イメージと認知度の向上について、日本のロータリーと世界のロータリー等幅広い内容の話しを解りやすくお話しいただきました。

その後、本年より国際ロータリーで採用になった「ロータリークラブ・セントラル」の利用方法について、宇部西RC 郷田宏会員により説明がありました。会員の皆様にはロータリークラブ・セントラルに慣れていただき、ご活用くださいますようお願いいたします。



2015-16 地区研修・協議会 クラブ管理運営部門報告

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 クラブ管理運営委員会 委員長 **栗屋 克昭**

クラブ管理運営委員会の地区目標は、次の4項目
1、魅力ある例会づくりの支援
2、出席率向上の対策検討
3、退会防止の対策検討
4、CLPへの理解促進

分科会では、この地区方針に従い、1) クラブをより魅力的で、楽しめる例会にしてゆく為に情報の共有を行いました。他クラブの例会運営や問題解決のヒントを見つけて載けるように、事前にアンケートをお願ひしました。この報告につきましては、遠浅清南年度委員長(福山南RC)に各クラブの色々な事例を紹介して頂きました。2) 2015-16年度の東ガバナー(宇部西RC)の地区運営の基本方針「ロータリーの基本に戻ろう(不局

第2710地区パストガバナーをお招きし、「今、クラブ、地区に求められているもの」という演題でご講演頂きました。岩永氏はロータリーの誕生から現況について詳しく述べられ、ロータリーが未来に向かって飛躍的発展を遂げるために、また、変革しゆくロータリーに対して今、私たちは何をすべきかをわかりやすい言葉で丁寧に説明されました。特に数年前からRIで検討されている「ロータリーの戦略計画」については詳しく説明され、各クラブ戦略計画の重要性を強調されました。大変に格調高いお話であったと評語され、次年度会長・幹事としてクラブ運営に大変参考になりました。のではないかと主催者として安堵しているところです。

そのほか、それぞれ部門におきましても活発な討議がなされ、各次年度クラブ指導者におかれましては、それぞれのクラブに持ち帰えられ、しっかりとした事業計画を立案されるよう望みます。

関係各位には改めて感謝申し上げますとともに、今後ともご協力の程よろしくお願ひします。

流行)*不易とは、変わらないこと。即ちどんなに世の中が変化し状況が変わっても絶対に変わらないもの。変えてはいけないもの。即ち「不変の真理」*流行は変わるもの、社会や状況の変化に従ってどんどん変わっていくもの。

ひとつの事例として、ロータリー会員とロータリーアンの違い、織物の継糸の継糸の違いなどについて、語を致しました。3) 陣かしい未来のために(会員基盤の強化)金子克也2014-15年度ガバナー(福山南RC)より報告を頂きました。ここに掲載できませんが、参加された方に配布した資料は前年度と今年度の2年分のアンケートで、74クラブから戴いた貴重な資料となりました。是非、今後のクラブ運営の参考にして戴きたいと思ひます。(資料作成:前年度委員長 浅利清)



地区研修・協議会 会員増強部門報告

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 会員増強委員会 委員長 田中 敏夫

東良羅ガバナナーが、会員増強委員会の方針として与えられた6項目の内、現会員の維持支援(退会防止対策、新会員への対応・例会の充実)を重点課題として分科会を企画しました。

「増強はロータリーとクラブの強化から」の演題で大之木構二カウナーさんに講演を頂きました。「年々歳々花似木村、歳々年々人回じからず」の言葉から始まるお話で、問題点として①増強問題を矮小化していないか②手段と目的を混同していないか③ロータリーの特徴の希薄化が増強活動のネックとなっていないかを提起され、本論として①会員減少の兆候②減少の原因③増強の為の基本姿勢④具体的な増強対策について説明を頂きました。最後にロータリーの創始者、ポールハリスの「ロータリーは時代の変化と共に常に変わって行かなければならない、クラブに魅力が無ければ、会員は退



地区研修・協議会 奉仕プロジェクト部門② (青少年交換奉仕) 報告

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 青少年奉仕委員会 委員長 金子 正己

2015-16年度第2710地区青少年奉仕委員長を務めます、金子正己(字部ロータリークラブ所属)と申します。宜しくお願い致します。

さて、青少年奉仕委員会は、インターアクト(IA)・ローターアクト(RA)・青少年交換(YE)・ロータリー青少年指導者育成プログラム(RYLA)の1つ々の青少年支援プログラムの委員会を運営されます。

共通の目的は、社会での将来良き指導者になりうる青少年を支援しまた、色々なチャンスの場を提供する事です。



地区研修・協議会 ロータリー財団部門報告

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 ロータリー財団委員会 委員長 伊賀 訓之

ロータリーの戦略計画の3つの優先項目「クラブのサポート強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」という柱を支えるため、2015年7月1日から始まる3年間のロータリー財団の4つの優先項目が提案されました。各優先項目には具体的な目標が定められています。

優先項目

- 1.永久にポリオを撲滅する。
- 2.ロータリー財団に対するロータリアンの知識、参加、寄付を向上させる。
- 3.財団の補助金と6つの重点分野を通じて、ロータリーの人道的使命の質と影響を高める。
- 4.ポリオプラスにおける成果と「世界でよいこと」をしてきた

100年の歴史に特に注目し、財団によるこれまでの実績に対してのイメージと認識を高める。

これらの優先項目に対する具体的な目標を各クラブ、地区が3年間を通して活動するよう求められています。

ロータリー財団の使命と補助金について次の通り発表しました。

- 1.ロータリー財団とは
 - 2.ロータリー財団の目的と使命
 - 3.地区補助金について
 - 4.地区補助金に関する地区指針の説明
- 以上、具体的な目標や説明はロータリー財団部門参加者へ配布いたしました資料をご参照ください。



地区研修・協議会 奉仕プロジェクト部門① (職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕) 報告

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 奉仕プロジェクト委員長 塔野 毅

奉仕プロジェクト部門①(職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕)には約150人が参加しました。K.R.ラビンドラ「RI会長のテーマ「世界へのプレゼンテーション」」を基本方針に開閉。職業奉仕「ロータリーの基本に立ち戻ろう」を基本方針に開閉。職業奉仕では宇部東のコンラッド・ペーター委員長からロータリーの歴史や職業奉仕の基本などについて、パワーポイントを使って講話していただきました。また社会奉仕では宇部西の若林功委員長、国際奉仕では広島西南の若田智博奉仕プロジェクト



地区研修・協議会 米山記念奨学会部門報告

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 米山記念奨学会委員会 委員長 浅山 琢也

ただ、奨学金で勉学に集中できたロータリーに対する感謝の気持ちとファミリーの一員として楽しく過ごした経験が伝えられました。とくに陶テイさんは素晴らしいスライドを作成し参加者の感動を受けました。

カウセイラ一佐々木正博さんから今後の抱負と、山本哲夫さんが経歴者として米山記念奨学会に対する熱意ある思いが語られました。

島崎雄志学友会会長から活動の説明があり、最後に川藤二郎カウセイラから講評をいただき、よねやま親善大使を活用し各クラブや会員の理解を得るように示されました。

予定時間内で大変有意義な分科会を持つことができました。

また、雑誌(ロータリーの友)では、宇部東クラブの藤里隆さんから、ロータリーの友をよく読んでいただくよう、また、同誌への寄稿のお願いなどありました。

最後にカウセイラの沖田智義バスターガバナナー(下関RC)より、広報のあり方への指針が示され、また宇部クラブの医療講座は職業奉仕という位置づけであったが、むしろ社会奉仕に近いのではないかとの鋭いご指摘もありました。

全般的に見ますと広報の重要性を確認した分科会でした。



地区研修・協議会 広報部門報告

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 広報委員会 委員長 徳田 文男

また、雑誌(ロータリーの友)では、宇部東クラブの藤里隆さんから、ロータリーの友をよく読んでいただくよう、また、同誌への寄稿のお願いなどありました。

最後にカウセイラの沖田智義バスターガバナナー(下関RC)より、広報のあり方への指針が示され、また宇部クラブの医療講座は職業奉仕という位置づけであったが、むしろ社会奉仕に近いのではないかとの鋭いご指摘もありました。

全般的に見ますと広報の重要性を確認した分科会でした。

各委員会より報告とお知らせ



ロータリーの友オリエンテーション報告

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 雑誌「ロータリーの友」委員会委員長 藤里 隆

2015年5月18日12時30分より「マルバルク(TOKYO)」に於いてロータリーの友委員会次期地区代表委員オリエンテーションが開催された。

始めにロータリーの友委員長兼一般社団法人ロータリーの友事務所代表理事橋本長平氏の挨拶、RI理事北清治氏、同村谷卓紀氏より挨拶とRI最新情報の伝達があり、以下次第によってスケジュール、地区代表委員へのお願ひ、各規定と留意点等が各担当者より説明がなされ質疑応答の上16時30分開会。以下に要点を述べ報告と致します。

- 1、すべての会員は、機関紙「ザ・ロータリアン」またはロータリーワーワードマガジンプレスの雑誌の有料購読者でなければならぬ。
- 「ロータリーの友」はRI理事会の承認を受けロータリーマガジンプレスの免許を得ている雑誌である。
- 2015-16年度「ロータリー友委員会」方針
- 「ロータリーの友」は、会員と会員、クラブとクラブ、地区

国際ロータリー第1、第2、第3ゾーン 会員基盤向上セミナー報告

3月30日～31日とホテルオークラ東京で「会員基盤向上セミナー」が開かれました。今回は第1・2・3ゾーンが対象で、1日目は北清治RI理事から趣旨説明があり、次いで「会員の増強・維持～戦略計画とクラブ活性化～」と題して討論が行われました。2日目は「ロータリー財団を活用した奉仕活動の更なる実践」として題し討論がありました。また田中作次元RI会長が「ロータリー平和アジェンダをもっと身近に」と題して講演され、日本からの平和アジェンダは他国に比べ多いと言えず、もっと若者に理解されるような対策が必要と説かれました。因みに2015-16年度財団の最優先項目は「永久にポリオを撲滅する」です。2日間にあわたってのセミナーは大変有意義なもので、次年度の地区運営に反映させて頂きます。



ロータリー財団寄付のお願い

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 ロータリー財団委員会委員長 伊賀 訓之

■自動定期寄付
 ①年次基金 150ドル以上/人
 ②ポリオ・プラス 35ドル以上/人
 ③パネファクター 1人以上/クラブ
 または恒久基金への寄付1000ドル以上/クラブ
 ④大口寄付の要請(自動定期寄付を奨励)
 ⑤冠名基金の要請(自動定期寄付を奨励)

自動定期寄付は、オンラインで申込みいただけます。下記のアドレスから寄付の種類を選択後、順次寄付ページを遷入下さい。
<http://www.rotary.org/ja/CONTRIBUTE>
 この寄付方法は自分に合った寄付頻度や設定出来る、手続きにかかる手間が省けるだけでなく、安全な方法自動的に寄付することが可能になります。ご協力宜しくお願いいたします。

国際ロータリー第2710地区 2015-16年度 74RCの会員増減・出席率

グループ	クラブ名	例	出席率(%)			会員数			増減	
			当月	平均	年初(7/1)	当月	当 月	本年度		
グループ	長門	4	86.41	88.53	29	27	4	0	2	-2
			5	85.12	79.15	47	47	7	7	0
グループ	下関中央	3	91.35	88.22	28	29	4	1	0	1
			5	92.17	85.85	47	59	2	15	3
グループ	下関北	4	93.3	91.52	41	42	0	3	2	1
			4	86.49	83.73	35	35	1	4	4
グループ	油谷湾	4	88.89	96.47	11	7	0	1	5	-4
			3	96.86	96.25	52	55	0	4	1
グループ	萩	3	100	99.92	21	20	0	2	3	-1
			4	90.52	78.81	23	23	0	5	0
グループ	小野田	4	88.41	84.81	41	40	3	2	3	-1
			4	89.33	90.94	49	48	2	2	3
グループ	宇部東	4	70.84	70.13	14	14	2	1	1	0
			4	96.19	93.01	49	52	1	5	2
グループ	宇部西	4	90.31	87.62	249	252	8	21	18	3
			3	89.31	86.41	50	51	0	5	4
グループ	防府北	4	86.11	86.46	19	18	2	0	1	-1
			3	88.6	83.4	36	36	8	3	0
グループ	山口	3	93.34	93.9	55	52	4	7	10	-3
			4	88.95	91.4	36	37	1	5	4
グループ	山口南	3	94.3	89.1	39	41	5	5	3	2
			4	88.44	83.03	45	41	0	1	5
グループ	周南西	5	96.74	95.14	46	47	5	3	2	1
			4	97.92	94.41	50	50	1	11	11
グループ	徳山	4	97.92	94.41	28	29	0	3	2	1
			4	95.16	96.29	52	51	0	4	5
グループ	徳山東	4	95.12	94.07	221	218	6	22	25	-3
			3	79.89	78.92	61	64	0	6	3
グループ	岩国中央	3	90.6	89.14	38	39	3	4	3	1
			4	85.41	86.6	55	54	4	2	3
グループ	柳井	4	100	100	34	32	2	0	2	-2
			3	100	97.57	28	27	2	1	2
グループ	柳井西	3	91.8	90.45	216	216	11	13	13	0
			4	99.82	99.85	114	115	0	15	14
グループ	広島安芸	5	97.84	98.49	39	37	2	1	3	-2
			4	92.86	92.71	19	21	1	2	0
グループ	広島東	4	99.2	99.88	89	97	4	13	5	8
			4	100	99.85	81	85	0	10	6
グループ	広島北	4	96.14	97.66	55	52	3	2	5	-3
			4	91.69	90.05	31	33	0	6	4
グループ	大竹	4	96.76	96.8	428	440	10	49	37	12
			3	96.86	96.25	244	243	11	15	16
グループ	広島安佐	4	94.44	98.03	17	18	0	1	0	1
			4	84.71	83.32	39	41	0	5	3
グループ	三次中央	5	87.72	90.57	44	42	5	1	3	-2
			4	90.9	88.93	33	34	4	2	1
グループ	庄原	5	90.9	88.93	33	34	4	2	1	1
			4	90.48	93.9	19	21	1	3	1
グループ	東城	4	89.65	90.95	152	156	10	12	8	4
			3	91.67	90.88	3243	3265	140	282	260
グループ	計	2710地区	91.67	90.88	3243	3265	140	282	260	22
			92.83	93.43	259	259	10	21	21	0
グループ	広島空港	3	93.65	86.42	22	22	2	2	2	0
			4	94.56	88.41	26	21	1	0	5
グループ	因島	5	94.23	91.54	64	63	1	3	4	-1
			4	85.06	84.9	71	78	3	14	7
グループ	尾道	4	85.73	88.32	51	51	0	0	0	0
			5	85.73	88.32	51	51	0	0	0
グループ	瀬戸田	4	85.7	85.7	7	7	0	0	0	0
			4	89.77	87.68	277	279	11	22	20
グループ	竹原	4	89.77	87.68	277	279	11	22	20	2
			4	92	86.91	32	30	0	1	3
グループ	福山	5	95.65	95.28	83	81	0	10	12	-2
			3	92.28	92.27	50	50	3	2	2
グループ	福山東	3	94.54	95.11	33	33	1	0	0	0
			4	89.13	84.88	23	23	0	2	2
グループ	瀬戸田	5	92.31	92.9	26	24	3	0	2	-2
			4	90.99	91.23	247	241	7	15	21
グループ	福山赤坂	4	76.18	76.25	43	40	4	4	7	-3
			4	90.42	89.33	48	48	0	1	1
グループ	福山北	4	87.67	85.51	60	58	2	3	5	-2
			4	87.6	85.51	60	58	2	3	5
グループ	福山西	4	87.6	85.51	60	58	2	3	5	-2
			4	87.6	85.51	60	58	2	3	5
グループ	松永	3	87.6	85.51	60	58	2	3	5	-2
			4	87.6	85.51	60	58	2	3	5



新会員紹介

 山村 勇介 下関RC 2015年5月11日 フィットネスクラブ	 宮原 昭久 下関RC 2015年7月6日 通運業	 大塚 裕美 下関中央RC 2015年7月3日 アロマセラピスト	 矢佐 竹春 下関東RC 2015年6月11日 電気業	 河上 祐三 下関東RC 2015年6月11日 証券業	 中村 雅光 下関東RC 2015年6月18日 一般貨物自動車運搬業	 畑 栄次 下関西RC 2015年7月1日 水産物販売	 上田 敦夫 宇部東RC 2015年6月30日 商業銀行	 相田 一廣 山口RC 2015年6月3日 貯蓄銀行	 平井 明 山口南RC 2015年6月19日 銀行
 有吉 毅彦 徳山RC 2015年6月18日 化学製品製造	 原田 尚明 広島安芸RC 2015年6月23日 不動産業	 水内 建雄 広島東RC 2015年6月10日 産業機械製造	 藤原 克実 広島北RC 2015年7月9日 洋服リフォーム業	 宮本 伸久 広島北RC 2015年7月9日 納骨堂	 岡田 昌樹 広島北RC 2015年7月9日 駐車場経営	 樹野 敏之 広島北RC 2015年7月9日 ITコンサルタント	 谷口 芳行 大竹RC 2015年6月9日 合成繊維製造	 田中 晃 大竹RC 2015年6月2日 ポリエチレン製造	 小嶋 泰紀 広島東南RC 2015年6月15日 地方銀行
 南條 滋 広島西RC 2015年7月2日 自動車部品製造	 西原 英治 広島西RC 2015年7月2日 機械販売	 佐久間 昭男 広島西RC 2015年7月2日 総合建設業	 宍戸 剛 広島西RC 2015年7月2日 自動車整備業	 山縣 浩一 広島西RC 2015年7月2日 スポーツ用品販売	 隅田 高士 広島西RC 2015年7月2日 損害保険	 安井 潔 東広島RC 2015年7月7日 損害保険	 高木 賢二 呉RC 2015年5月14日 旅行斡旋業	 岩本 宏 呉RC 2015年5月14日 地方銀行	
 玉川 勇二郎 広島空港RC 2015年7月1日 自動車整備	 佐木 学 福山赤坂RC 2015年7月6日 国産車販売	 下宮 典子 福山赤坂RC 2015年7月6日 住宅設備機器販売	 眞田 敏治郎 松永RC 2015年6月29日 薬局	 和田 晴幸 三次RC 2015年6月4日 酒類販売					

謹んで追悼の意を表します

 2015年6月26日ご逝去 (享年71歳) ■ロータリー歴 米山功労者(2回) 2013-14年度 米山記念奨学会担当理事 ■職業分類 プライダグギャラリー 防府南RC 故 村重 百代 殿	 2015年7月7日ご逝去 (享年65歳) ■ロータリー歴 マルチプル・ボール・ ハリス・フェロー ■職業分類 日本酒醸造 東広島21RC 故 佐々木 隆一 殿
---	---

文庫
通信

334号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

■デジタル化されたロータリー文献(2)

私のロータリー	森 三郎	1992	198p	
日常語で、ロータリー	森 三郎	1995	20p	
『今ロータリーが忘れてる事』関西ロータリー研究会第55回例会記録	森 三郎(講師)	1999	112p	
アイウエオ!! -ロータリーの心と人生のイロハ-	小林 博	2002	4p	
ロータリーとは何か(ロータリー入門)	松崎 勝一	2005	11p	
ロータリーの歴史(75年の歩みを振り返る)	梶原 景親	1980	53p	福岡西RC.
ロータリーの奉仕哲学	梶原 景親	1983	40p	福岡西RC.
ロータリー讀本	梶原 景親	1984	143p	福岡西RC.
ロータリアンの特典と義務について 改訂版	麻植 晃	1998	18p	徳島南RC.
会員増強について考える	鳴海 淳郎	2000	8p	

[上記申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL:(03)3433-6456 FAX:(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館:午前10時~午後5時 休館:土・日・祝祭日

国際ロータリー
第2710地区 事務局

〒732-0822 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F
TEL:082-506-0055 FAX:082-263-2323 E-mail:info@ri2710.com URL:http://ri2710.com/